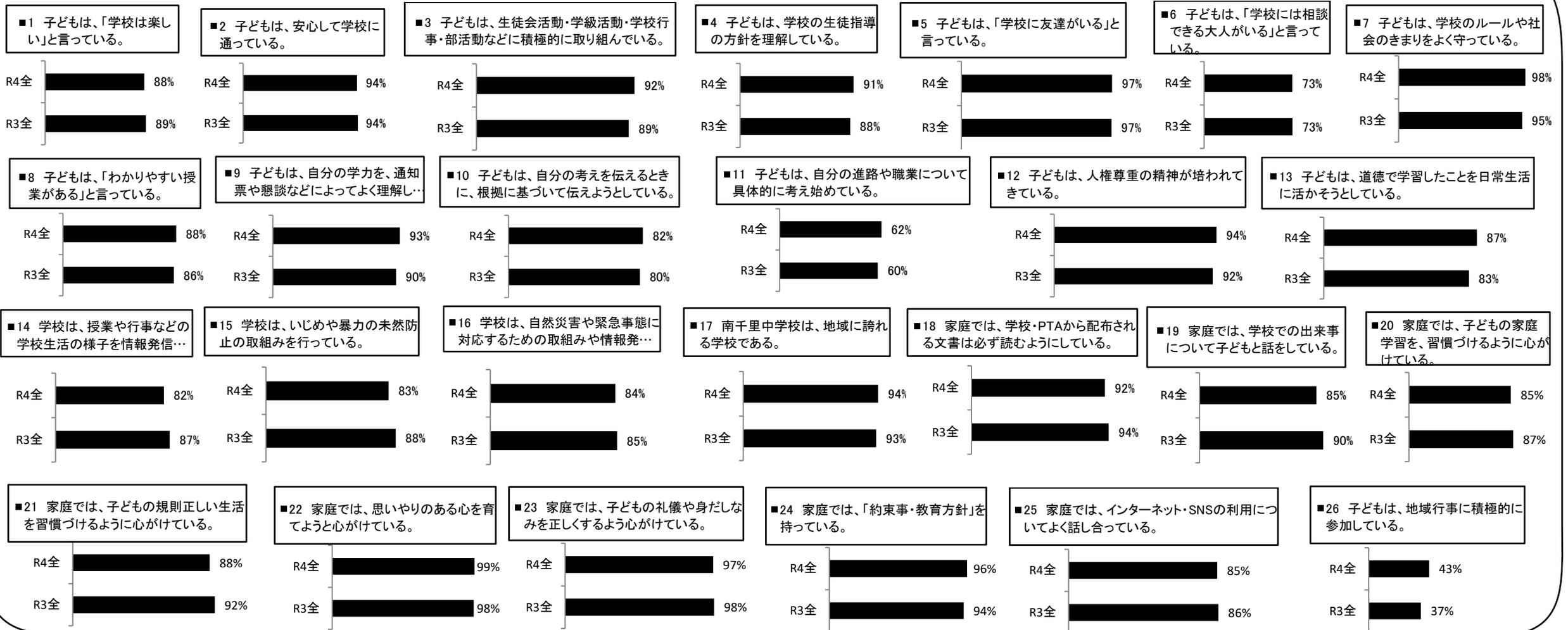


令和4年度 南千里中学校 学校教育自己診断

保護者(回答率74%)

※ 概ね良好な回答(1.そう思う+2.ややそう思う)



【校長より】

保護者の皆さま

今年度は、「自ら学び、ともしつながり、やり抜く生徒の育成」を目標として、教育活動を行っています。行動制限も少しずつ緩和され、学校行事や部活動も対策を講じながら実施できるようになり、前年度より数値が高くなった項目が増えています。そんな中学生の安心・安全を第一に考え人権教育や道徳教育を推進するとともに、子どもたちに丁寧に寄り添い、いじめを許さない学校づくりに積極的に取り組んで参ります。また、一人一台のPCの活用を含め、子どもたちが、「わかった・楽しい」と実感できる授業づくりを目指し、授業研究などを実施し、日々の学校の様子と合わせて、学校HP(南中ブログ)や学校だより・学年だより等各種お便り、スクリーンを活用し積極的に配信していきたいと考えています。学校と家庭が連携して、子供たちの健やかな成長を支援していくことが、何よりも大切だと考えます。今後とも南千里中学校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【アンケート結果から】 設問1「子どもは『学校が楽しい』と言っている。」肯定的な回答はともに90%を割り込んでおり、来年度以降の改善を教員全体で共有しなければならない。設問2「子どもは、安心して学校に通っている」の項目は、前年度同様高い数値である。本年度は集団下校を行ったが、事前事後の細やかな対応を来年度以降に活かす。設問3「子どもは、生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる。」ではコロナ制限が緩和されたことで、前年度よりも数値は回復している。設問4「子どもは、学校の生徒指導の方針を理解している。」設問7「子どもは、学校のルールや社会のきまりをよく守っている。」では前年度より数値が上がっており、来年度の制服導入に伴い、生徒指導部からの発信が増えたことで生徒が規則について振り返る回数が増えたことも関係していると考えられる。設問5「子どもは、『学校に友達がいる』と言っている。」この項目は前年度同様高い数値である。休み時間や放課後には生徒同士の笑い声がよく聞こえてくる。設問6「子どもは、『学校には相談できる大人がいる』と言っている。」ここ数年、保護者生徒ともに70%前半まで推移しており、本校の課題ととらえている。子どもたちから信頼される教員・学校であるために、生徒・保護者の思いに寄り添いながら開かれた学校づくりを進め、改善に努める。設問8「子どもは、『わかりやすい授業がある』と言っている。」設問10「子どもは、自分の考えを伝えるときに、根拠に基づいて伝えようとしている。」設問8は生徒の肯定的回答は95%であるが、保護者は90%を下回っている。設問10では80%前半である。設問9「子どもは、自分の学力を、通知票や懇談などによってよく理解している。」設問11「子どもは、自分の進路や職業について具体的に考え始めている。」上記2問の回答から、生徒は、自身の学力の把握はできているが、進路について具体的に考えている生徒が少ないということがわかる。また、生徒自身がそれぞれの目標に合わせて、目的をもって学習できるようなキャリア教育を推進していかなければならない。設問12「子どもは、人権尊重の精神が培われてきている。」設問13「子どもは、道徳で学習したことを日常生活に活かそうとしている。」ともに前年度より数値が向上している。本年度は道徳の授業研究を講師の先生にいただいたことで、より実践的なものの方見方考え方を教師が生徒に還元できる体制がとれていたと考えられる。設問14「学校は、授業や行事などの学校生活の様子を情報発信している。」設問16「学校は、自然災害や緊急事態に対応するための取組みや情報発信などを行っている。」ともに80%以上の肯定的な回答であったが、昨年度よりも少し低い値となっている。設問15「学校は、いじめや暴力の未然防止の取組みを行っている。」80%以上が肯定的な回答で、いじめは、「どの子どもにも、どの学校でも起こりうること。」であるという認識のもと、子どもたちに丁寧に寄り添い、誰もが安心安全に過ごせる学校づくりを行っていく。設問17「90%以上の肯定的な回答という高い評価をいただいている。設問18「家庭では、学校・PTAから配布される文書は必ず読むようにしている。」は、90%以上の肯定的な回答が増加しており、多くの保護者の方が、日常的に学校に関心があることがわかる。設問21「家庭では、子どもの規則正しい生活を習慣づけるように心がけている。」においては、肯定的な回答が89%、設問22～24において、肯定的な回答が95%以上と高い割合を占めていることから、保護者の方の子どもに対する教育・躾への関心の高さがうかがえる。設問25「家庭では、インターネット・SNSの利用についてよく話し合っている。」は、85%が肯定的な回答と昨年度と変わらないが、GIGAスクール構想が進められている現在、ますます学校と家庭が連携して情報モラル教育を進めていく必要がある。設問26「子どもは、地域行事に積極的に参加している。」では、肯定的な回答が43%と低く、コロナ禍において地域行事が少なく、積極的な参加を促せない事情も影響していると思われる。

令和4年度 南千里中学校 学校教育自己診断

生徒(回答率92%)

※ 概ね良好な回答(1.そう思う+2.ややそう思う)



【校長より】

日々の授業、行事や部活動への制限が緩和され、地域行事なども再開される中で、様々なことを体験・経験することで肯定的な回答が増えてきています。また、新制服の導入や、朝読書の取組みなどにより生徒自身が主体的に考える機会が増えたことも数値に表れています。「学校に相談できる大人がいる」や「わからないことを質問することができる」などの項目については、結果を真摯に受け止め、丁寧に子どもたちに寄り添い支援する学校づくりを進め、改善に努めてまいります。

【アンケート結果より】

設問1「私は、学校に行くのが楽しい」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒が89%を占めるが、逆に11%の生徒が否定的な回答をしている。設問2「私は、安心して学校に通っている」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は93%を占める。設問3「私は、生徒会活動・学級活動・学校行事・部活動などに積極的に取り組んでいる」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は、90%を占め、前年度より3ポイント上昇している。設問4「私は、清掃活動に積極的に取り組んでいる」に対しては91%が、設問5「私は、この学校に、一緒に過ごしたり話したりする友だちがいる」に対しては97%が肯定的に回答しており、これは前年度と変化はない。設問6「私は、この学校に、悩みを相談できる大人がいる」という質問に対して、73%が肯定的に回答しているが、27%が否定的に回答している。設問7「私は、学校のルールや社会の決まりをよく守っている」の質問に対して、96%が肯定的に回答している。また学年が上がるにつれて、肯定的な意見が増加している。設問8「わかりやすい授業がある。」95%は肯定的な回答となっていて昨年と大きく変わっていない。設問9「私は、積極的に授業に参加している。」90%が肯定的な回答となっている。設問10「私は、わからないことについて、授業中や休み時間などに質問することができる。」肯定的な回答が76%で昨年とあまり変化はない。設問11「私は、ペアやグループなどの対話的な活動により、自分の考えを深めている。」全体として95%以上が肯定的な回答であり、授業における実践率の高さを物語っている。設問12「私は、自分の考えを伝えるために、理由も併せて説明するようにしている。」全体的に9割以上が肯定的意見であり、前年度より約5%高くなっている。自分の考えをよりはっきり伝えることができるようになってきていると考える。設問13「私は、図書室で本を借りたり店で購入したりするなどして、本をよく読む。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は54%で、前年度の46%と比べて8ポイント上昇している。これは、本年度より本格実施した朝読書の取組みによる影響であると考えられる。設問14「私は、道徳で学習したことを、日々の生活に活かしている。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は79%で、前年度と大きな変化はない。設問15「私は、将来の生き方や進路について考え、学習している。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は78%で、前年度の81%と大きな変化はない。設問17「学校は、いじめや暴力の未然防止の取組みを行っている。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は81%で、前年度の83%と大きな変化はない。設問18「学校は、自然災害や緊急事態に対応するための取組みを行っている。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は91%である設問19「少人数分割授業は、一括授業と比べて授業内容が分かりやすい。」の質問は、少人数分割を実施している三年生では肯定的な意見が90%になる。設問20「学校では、ICT機器を活用した授業も行われている。」の質問に対して、好意的な意見は96%で引き続き非常に高い数値を維持している。設問22「南千里中学校は、地域に誇れる学校である。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は96%で、前年度と変化はない。設問23「私は、家で積極的に予習や復習をしている。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は大きな変化はない。全ての学年で、だいたい4人に1人が「よくあてはまる」と回答していた。設問24「私は、家の人と学校の出来事について、よく話をする。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は79%で大きな変化はない。設問25「私は、家の人とインターネット・SNSの利用についてよく話し合っている。」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒は70%で変化はない。設問26「私は、地域活動に積極的に参加している。」の質問に対する肯定的な回答は42%と、前年度の35%から7ポイントの上昇をしている。